

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・無駄買いをしなくなっている。観光客も買物は控えめである。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・売上は前年並みに推移しているが、底の状態を維持しているに過ぎない。パンやラーメンの値上げで客単価のアップもみられるが、主力の一つであるドリンクはヒット商品もなく前年割れである。特に飲料水類の落込みが顕著で量販店に流れている傾向がある。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数は、前年と比べて若干上回っているが、今月は単価、客単価共に若干前年を下回っている。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・前月は一時的に売上が良かったが、今月は低迷しており、前年よりも悪い。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・当施設の利用者は、3か月前は前年同月比で103.8%であった。今月は5月25日現在で103.3%と前年同月比で同程度の伸びとなっている。5月の沖縄への入域観光客数も順調に推移し、前年同月を維持していると推測される。来園者は、一般団体、中学生の修学旅行、家族連れ等が中心である。
		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・県内のゴルフ業界は低単価の傾向が続いている。
	やや悪く なっている	一般小売店 [鞆・袋物] (経営者)	単価の動き	・ガソリン代や、諸物価の値上がりの懸念で、客が慎重になり、贈物の単価が落ちている。その他購入商品の単価も以前より落ちている。
		百貨店（担当者）	単価の動き	・ゴールデンウィーク以降、母の日の動向が悪く低迷している。客単価が上がらず来客数減と合わせて厳しい。特に婦人衣料の動向が悪い。
		家電量販店（従業員）	来客数の動き	・今月は来客数が減り、客単価が落ち込み、かなり厳しい数字になっている。客の買物がシビアになっている。
		観光型ホテル (商品企画担当)	販売量の動き	・4月から6月の平均稼働率は前年の78%から今年は76%と、2%下回る見込みである。直前の1月から3月では前年を1.5%上回っていた。
		観光型ホテル (営業担当)	単価の動き	・客室数、人数共に順調であるが、客室単価を落としたため、売上金額が減少している。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・連休終了後特に来客数よりも販売量の低下が目立ち、買い控えを行っている様子が伺える。景気が良くなっているとは言えない。
	悪く なっている	その他専門店 [楽器](経営者)	販売量の動き	・ゴールデンウィークまでは前年並みだったが、それ以降は突然、売上が大きく下がっている。業種にも関係あるかもしれないが非常に厳しい。
	その他専門店 [書籍](店長)	お客様の様子	・以前まで雑誌などを定期的に購入していた客も、最近では店頭で内容を確認してから購入するようになった。衝動買いする客はほとんどいなくなっている。	
	その他飲食[居酒屋](経営者)	来客数の動き	・連休明けから、例年の15%来客数がダウンしている。郊外型の店舗はガソリンの値上がりと反比例して、来客数が例年より30%落ちている。	
企業 動向 関連	良く なっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・住宅建築の契約件数が増えてきている。
	やや良く なっている	食料品生産業（管理部門）	それ以外	・円高効果と輸入商品の売上増で調子が良い。
		輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・改正建築基準法の施行問題に影響される民間工事は依然低迷しているが、公共工事は遅れていた土木関連を中心に、生コンや、アスファルト用の砂及び砕石の受注が出ている。
変わらない	会計事務所（所長）	受注量や販売量の動き	・天気が良い日が続いており、飲食業にとっては良い条件であるが、今後、梅雨の本格化、空梅雨などの影響が無いかが心配である。	
	コピーサービス業（代表者）	競争相手の様子	・月々の状況が悪すぎる。競争の激化に伴って、思うような仕事に結びつかないというのが現実である。今後もこの状況は続き、将来は淘汰される状況になってくる。	

	やや悪くなっている	輸送業（営業担当）	競争相手の様子	・燃料高騰による収益圧迫で倒産した船社もある。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・引き続きシステム開発受注案件の依頼があるが、最終的には契約等に至らない。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・サブプライムローン問題の影響から県内に進出する大手不動産業界の活動が鈍化する可能性があり、販促活動自粛につながる事が想定される。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・原油高や様々なコストアップの影響で売上が鈍ると予想していたが、さほど大きな落ち込みは無い。派遣依頼は新規の契約も複数有り、各企業厳しいと言いつつも仕事量は減ってない様子である。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣会社等の県外企業が沖縄での採用活動から撤退、もしくは縮小している傾向が目につく。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・県外からの求人には相変わらず勢いはあるが、県内については、今後は景気動向から様子見の傾向が感じられる。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・平成20年4月の有効求人数が6,915人で3か月前に比べ4.9%増加、前年同月比で15%減少している。食料品製造業からの求人が増えているもののパートが増加しており、常用は減少している。また、この1年皆無だった輸送用機械製造業（請負・派遣業者）からの求人が100人ほどあり、管内の求人倍率を上げている。
	悪くなっている	-	-	-